



令和7年度 事業計画・予算案

1 事業方針

「著しい社会情勢の変化に応え、稼げる企業の創出を目指す」ため、以下の3つの目標達成に向けて事業を推進する。(令和6年度事業を踏襲)

1 DXの推進や外国人材の活用、未来を担う人材育成による人材不足対策

- (1) ITリテラシーの向上とデジタル技術の普及によるDX支援
- (2) モンゴル高専等の高度な知識を有する外国人材の活用に要する環境整備
- (3) ものづくりの未来を担う人材育成

2 産学連携や先進技術の活用等による長岡版イノベーションの創出

- (1) 産学連携による新技術開発、課題解決の支援
- (2) ものづくりに関する先進技術の導入支援

3 高度な要素技術が集積する、ものづくり地域としてのブランディング

- (1) ものづくり地域としてのブランディング
- (2) NAZEのプラットフォーム機能強化
- (3) 多様な手段による効率的な広報・PR

2 事業概要（ポイント）

1 DXの推進や外国人材の活用、未来を担う人材育成による人材不足対策

(1) ITリテラシーの向上とデジタル技術の普及によるDX支援

- 製造業デジタル化実装モデル事業から「製造業DX促進」事業を進展
 - 【廃止】 ものづくりデジタルオフィサーの廃止
 - 【新規】 IoTセンサーの普及による生産性向上の支援
 - 【新規】 業務のデジタル化に不可避で負荷の高い要件定義等を支援
 - 【新規】 企業の実状にあったデジタル技術の導入を支援
 - 【継続】 デジタル化なんでも相談によるITリテラシーの向上

(2) モンゴル高専等の高度な知識を有する外国人材の活用に必要な環境整備

- JICA草の根技術協力事業（地域活性化型）
 - 【継続】 新潟・モンゴルの産業変革を担う産業DX人材育成プラットフォームの構築（2年目/3か年補助事業）

(3) ものづくりの未来を担う人材育成

- NAZE学園の実施方法見直し
 - 【継続】 13日間（終日）から、実習のほかにテーマ別セミナーを開催
- 子ども向けものづくり学習機会の拡充
 - 【新規】 ものづくりオープン授業を開催

3

2 産学連携や先進技術の活用等による長岡版イノベーションの創出

(1) 産学連携による新技術開発、課題解決の支援

- 令和6年度事業の継続 …… NICO事業との連携（活用）

(2) ものづくりに関する先進技術の導入支援

- 令和6年度事業の継続 …… ニーズに合わせた事業実施

3 高度な要素技術が集積する、ものづくり地域としてのブランディング

(1) ものづくり地域としてのブランディング

- 「豪技」認定方法の見直し
 - 【新規】 「豪技」を認定する仕組みの見直し、検討
 - 【新規】 NAZE20周年記念ロゴの利活用
- 展示会出展ブースの質を維持
 - 【継続】 物価高騰に伴うブース設置費用の増額に対応

(2) NAZEのプラットフォーム機能強化

- 事業の周知、成果の発信方法の見直し
- NAZE20周年記念事業の実施
 - 【新規】 記念講演会、チャリティゴルフコンペの開催
 - 【新規】 事業やセミナー等に「NAZE20周年記念事業」を冠して実施

(3) 多様な手段による効率的な広報・PR

- YouTube等のコンテンツを拡充
 - 【新規】 データを活用した効果的な広報・PRの実施

4

3 予算概要（ポイント）

1 市補助金等の獲得による令和6年度と同規模の予算編成

- 令和7年度予算（歳入） 8,133万4千円（R6から7,944千円減）
 - ・ 長岡市補助金 3,897万円（R6から50万円増）
 - ・ 長岡商工会議所負担金 280万円（R6同額）
 - ・ 会費（法人・個人） 1,182万円 ほか

2 事業の見直し（スクラップ＆ビルド）による増額の抑制

- 各事業の効果を適正に評価した、スクラップ＆ビルドによる事業費の適正化
- 県、市やNICOなど、他団体の補助事業を積極的に活用
 - ※ コーディネート機能を高め、プラットフォームとしての評価を得る

3 拡大した事業・予算に適したガバナンスとコンプライアンスの整備

- 諸規則、規定及び基準を見直し、必要に応じ設置、改定
- システムの利活用による適正で効率的な事務処理の実現（事務局のDX）